

動物生殖工学研究室

教員：澤井 健

公開場所：3 号館 4 階 410 号室



動物生殖工学研究室とは？

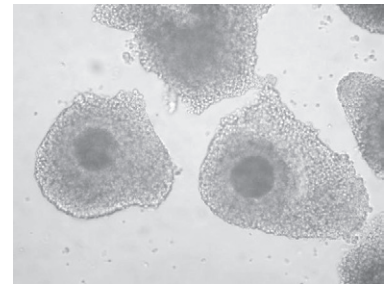
動物の子供を効率よく生産するために、体外受精 (IVF) や体細胞核移植 (クローン技術) などの技術があります。これらの技術は生殖工学技術と呼ばれています。私たちの研究室はウシやブタなど家畜の生殖工学に関する研究を行う研究室です！



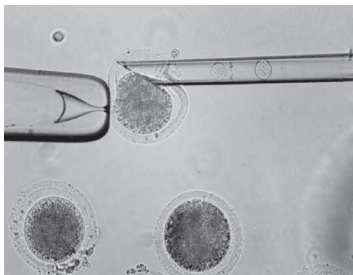
研究室HPをチェック！
<http://reprod-tech.jimdo.com>

研究内容は？

哺乳動物の受精や胚・胎児発生の仕組みを理解し、体外で生産された胚が体内で生産された胚と同じような性質をもつようにクローン技術を改良したり胚の培養方法を改良したりするために次のような研究を行っています。



ウシの未成熟卵子



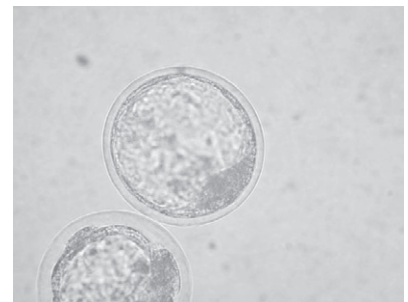
クローン技術

その 1. ウシやブタの IVF、クローン技術を開発する！

家畜の卵巣から、未成熟な卵子を取り出し凍結精子と受精させることで初期胚を作ったり、核を取り除いた卵子に体細胞を入れることでクローン胚を作っています。それらの胚が効率よく体外で発生する条件や方法を調べています。

その 2. 卵子や胚、胎子の機能や性質を調べる！

生殖工学技術で作られた胚や胎児は、お母さんウシ(ブタ)の体内で受精発育した胚や胎児と同じ性質をもつのか、まったく異なる性質をもつのかを、胚や胎児のなかにある DNA や RNA を抽出して調べています。



受精後 7 日目のウシ胚



興味がある人は研究室まで
遊びに来てね！